

GruppeM RAM AIR SYSTEM

CARBON DUCT INTAKE KIT

取扱説明書

FRI-0336

BMW F20 M135i / F22 M235i (N55)用

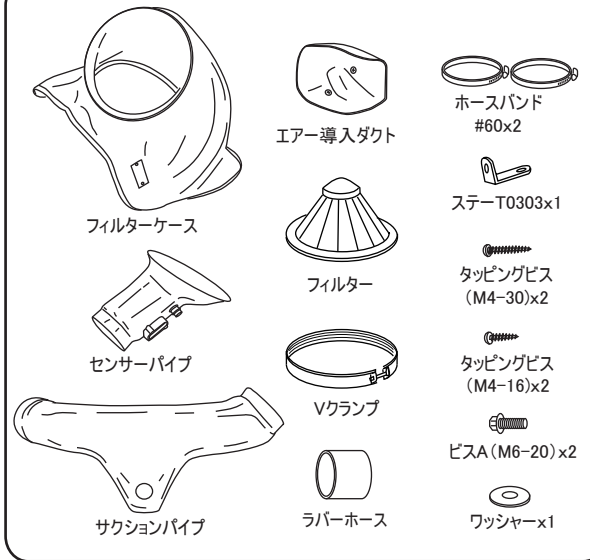
この度は RAM AIR SYSTEM を御買い求め頂き有難うございます。作業に入る前に右のパーツリストと照らし合わせて部品が全部揃っていることを確認してください。

警告

- 一般公道等、歩行者や他の交通の妨げになる場所では作業しないで下さい。
- 作業中に車が動き出さないように平坦な場所でサイドブレーキ等をかけて確実に停車させて下さい。また、エンジンキーを抜きエンジンが完全に冷えてから作業を開始して下さい。
- 作業を行う場合は作業に適した服装で、必要に応じて保護手袋、保護眼鏡等を使用して下さい。
- 装着後は日頃のメンテナンスを十分に行い、各部の緩み等をチェックし増し締めを行って下さい。
- 表記車種以外の車に取り付ける際の加工については当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書は作業終了後も紛失しないように大切に保管して下さい。

正しいモータースポーツと暴走行為とは全く異質のものです。本製品を御利用頂く皆様に充分なる御理解と法規則にのっとった正しい使用をされる事をお願い申し上げます。

PARTS LIST



ラムエアシステムの取り付け



エアマスセンサーの配線、ポンプエアホースを外し、エアクリーナーケースASSYを外します。



サクシオンパイプ一体型のケース上部を外し、次に下側のケースを外します。



エアマスセンサーを外します。



カーボンセンサーパイプにエアマスセンサーを取り付けます。(タッピングビス M4-30を使用)

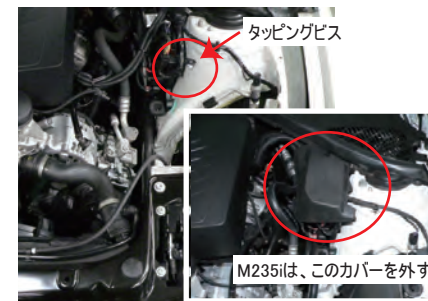
※ ブーストアップや社外ECUにて、エンジンチェックランプが点灯した場合は、アルミスパーサーを外して直接カーボン部へエアマスセンサーを取り付けて対処してください。(タッピングビス M4-16を使用)



フィルターケースにステーを取り付けます。(ビスA使用)



カーボンサクシオンパイプをノーマルのインテークホースに差し込みます。



矢印部のカーボンケース固定位置のタッピングビスを外します。M235iは、このカバーを外します。M235iは、このカバーを外します。



純正のエアガイド下側の四角孔からビスA、ワッシャーを使用してカーボンケースを固定します。



サクシオンパイプ中央の丸孔にゴムブッシュを差し込み、各部のホースバンドを締め付けて固定します。



エア導入ダクトをラジエター前のパイプ部に取り付けます。固定プレートをパイプの裏に配置します。



フィルターケースをエンジンルーム内に配置します。



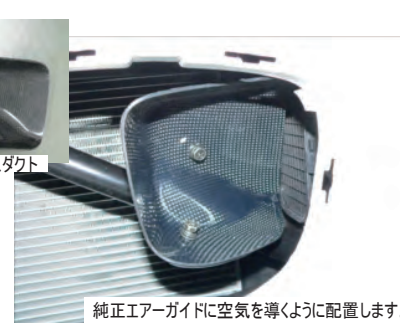
センサーパイプをサクシオンパイプと接続し、フィルターを挟んでVクランプで取り付けます。

エア導入ダクトの取り付け

バンパー上部から手を入れてグリル裏のツメを起こして外します。難しい場合は、一度バンパーを外してグリルを外してください。



左側グリルを引き抜いて外します。いくつかのツメで留めてあります。マスキングテープでグリル周りを保護してから作業をお勧めします。



固定プレートと導入ダクトを押し合わせて、ビスで固定します。



ノーマルのタッピングビスで固定します。



フィルターを挟み、Vクランプで取り付けます。向きを微調整しながらフィルターとケースを挟み、Vクランプで取り付けます。



8か所のツメがあります。無理に引き抜くとツメが破損します。難しい場合はバンパーを一度外してグリルを外して下さい。



グリルを元のとおりに取り付け、作業完了です。

GruppeM INC.

株式会社 グループ・エム

〒351-0015 埼玉県朝霞市幸町3-12-24 Tel.048-450-2911 FAX.048-450-2912
http://www.gruppem.co.jp

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。